

カンデサルタン錠 2mg 「FFP」
 カンデサルタン錠 4mg 「FFP」
 カンデサルタン錠 8mg 「FFP」
 カンデサルタン錠 12mg 「FFP」

【この薬は？】

販売名	カンデサルタン錠2mg「FFP」 Candesartan Tablets 2mg「FFP」	カンデサルタン錠4mg「FFP」 Candesartan Tablets 4mg「FFP」	カンデサルタン錠8mg「FFP」 Candesartan Tablets 8mg「FFP」	カンデサルタン錠12mg「FFP」 Candesartan Tablets 12mg「FFP」
一般名	カンデサルタン シレキセチル Candesartan Cilexetil			
含有量 (1錠中)	2mg	4mg	8mg	12mg

患者向医薬品ガイドについて

患者向医薬品ガイドは、患者の皆様や家族の方などに、医療用医薬品の正しい理解と、重大な副作用の早期発見などに役立てていただくために作成したものです。

したがって、この医薬品を使用するときに特に知っていただきたいことを、医療関係者向けに作成されている添付文書を基に、わかりやすく記載しています。

医薬品の使用による重大な副作用と考えられる場合には、ただちに医師または薬剤師に相談してください。

ご不明な点などありましたら、末尾に記載の「お問い合わせ先」にお尋ねください。

さらに詳しい情報として、「医薬品医療機器情報提供ホームページ」

<http://www.pmda.go.jp/safety/info-services/drugs/0001.html> に添付文書情報が掲載されています。

【この薬の効果は？】

- ・この薬は、アンジオテンシンⅡ受容体拮抗薬と呼ばれるグループに属する薬です。
- ・この薬は、血管を収縮する作用のあるアンジオテンシンⅡと呼ばれる物質の働きを抑えることで血圧を下げます。

- ・次の病気の人に処方されます。

高血圧症、腎実質性高血圧症	カンデサルタン錠2、4、8、12mg
下記の状態で、アンジオテンシン変換酵素阻害剤の投与が適切でない場合 慢性心不全（軽症～中等症）	カンデサルタン錠2、4、8mg

- ・この薬は、体調がよくなったと自己判断して使用を中止したり、量を加減したりすると病気が悪化することがあります。指示どおりに飲み続けることが重要です。

【この薬を使う前に、確認すべきことは？】

- 次の人は、この薬を使用することはできません。
 - ・過去にカンデサルタン錠「FFP」に含まれる成分で過敏症のあった人
 - ・妊婦または妊娠している可能性がある人
 - ・アリスキレンフマル酸塩（ラジレス）を使用している糖尿病の人（ただし、他の血圧を下げる治療を並行して行ってもなお血圧のコントロールが著しく不良の人を除く）
- 次の人は、慎重に使う必要があります。使い始める前に医師または薬剤師に告げてください。
 - ・腎動脈狭窄のある人
 - ・高カリウム血症の人
 - ・腎臓に障害のある人
 - ・肝臓に障害のある人
 - ・過去に薬剤で過敏症のあった人
 - ・高齢の人
- この薬には併用を注意すべき薬があります。他の薬を使用している場合や、新たに使用する場合は、必ず医師または薬剤師に相談してください。

【この薬の使い方は？】

●使用量および回数

飲む量は、あなたの症状などにあわせて、医師が決めます。小児の場合、成人の用量を超えて投与されません。

通常、飲む量および回数は次のとおりです。

〔高血圧症（成人）の場合〕

販売名	カンデサルタン錠2mg「FFP」	カンデサルタン錠4mg「FFP」	カンデサルタン錠8mg「FFP」	カンデサルタン錠12mg「FFP」
一回量	4～8mg（必要に応じ12mgまで増量されることがあります。）			
飲む回数	1日1回			

腎臓に障害のある人は、1日1回2mgから開始し、必要に応じ8mgまで増量されることがあります。

[高血圧症（1歳以上6歳未満の小児）の場合]

販売名	カンデサルタン錠2mg「FFP」	カンデサルタン錠4mg「FFP」	カンデサルタン錠8mg「FFP」	カンデサルタン錠12mg「FFP」
一回量	体重1kgあたり0.05～0.3mg			
飲む回数	1日1回			

[高血圧症（6歳以上の小児）の場合]

販売名	カンデサルタン錠2mg「FFP」	カンデサルタン錠4mg「FFP」	カンデサルタン錠8mg「FFP」	カンデサルタン錠12mg「FFP」
一回量	2～8mg(必要に応じ12mgまで増量されることがあります。)			
飲む回数	1日1回			

腎臓に障害のある人は、低用量から開始し、必要に応じ8mgまで増量されることがあります。

[腎実質性高血圧症（成人のみ）の場合]

販売名	カンデサルタン錠2mg「FFP」	カンデサルタン錠4mg「FFP」	カンデサルタン錠8mg「FFP」	カンデサルタン錠12mg「FFP」
一回量	2mg（必要に応じ8mgまで増量されることがあります）			
飲む回数	1日1回			

[慢性心不全（軽症～中等症）（成人のみ）の場合]

販売名	カンデサルタン錠2mg「FFP」	カンデサルタン錠4mg「FFP」	カンデサルタン錠8mg「FFP」
一回量	4mg（必要に応じ8mgまで増量されることがあります。)		
飲む回数	1日1回		

腎臓に障害のある人などは、1日1回2mgから開始します。

●どのように飲むか？

コップ1杯程度の水またはぬるま湯で飲んでください。

●飲み忘れた場合の対応

決して2回分を一度に飲まないでください。

気が付いた時に、1回分を飲んでください。ただし、次に飲む時間が近い場合は1回とばして、次の時間に1回分飲んでください。

●多く使用した時（過量使用時）の対応

異常を感じたら、医師または薬剤師に相談してください。

【この薬の使用中に気をつけなければならないことは？】

- ・この薬は腎臓に障害のある人やコントロール不良の糖尿病の人に、高カリウム血症をおこすおそれがあるので、これらの人では血液検査がおこなわれることがあります。
- ・血圧が下がることにより、めまい、ふらつきがあらわれることがあるので、高所作業、自動車の運転など危険を伴う機械の操作には注意してください。

- ・手術前24時間はこの薬を使用しないことが望ましいので、手術を受ける場合、この薬を飲んでいないことを医師に伝え、医師の指示に従ってください。
- ・急激な血圧の低下（失神、意識消失、腎機能の低下（尿量が減るなど）、貧血など）があらわれることがあるので、そのような場合には、医師に連絡してください。特に次の人は十分注意してください。

[高血圧症の場合、次の人]

- ・血液透析中の人
- ・嚴重な減塩療法中の人
- ・利尿剤を使っている人（特に最近使用を開始した人）
- ・低ナトリウム血症の人
- ・腎臓に障害のある人
- ・心不全の人

[慢性心不全の場合、次の人]

- ・血液透析中の人
- ・嚴重な減塩療法中の人
- ・利尿剤を使っている人（特に最近使用を開始した人）
- ・低ナトリウム血症の人
- ・腎臓に障害のある人
- ・低血圧の人
- ・比較的重症度の高い慢性心不全の人

- ・妊婦または妊娠している可能性がある人はこの薬を使うことができません。
- ・この薬を使用中に妊娠が判明した場合は、ただちに医師に相談してください。
- ・妊娠する可能性がある人は、医師や薬剤師に、この薬が妊婦や胎児に影響を及ぼす可能性があることについて説明を受け、十分に理解してください。特に、妊娠の希望や予定のある人は、医師に相談してください。
- ・授乳中の人には、授乳を中止してください。薬の影響を心配する女性に対し、妊娠と薬情報センターで相談に応じています。さらに詳しい説明を希望される場合には妊娠と薬情報センターにご相談ください。

《妊娠と薬情報センター》

（国立成育医療研究センター）電話：03-5494-7845

- ・他の医師を受診する場合や、薬局などで他の薬を購入する場合は、必ずこの薬を飲んでいないことを医師または薬剤師に伝えてください。

副作用は？

特にご注意いただきたい重大な副作用と、それぞれの主な自覚症状を記載しました。副作用であれば、それぞれの重大な副作用ごとに記載した主な自覚症状のうち、いくつかの症状が同じような時期にあらわれることが一般的です。

このような場合には、ただちに医師または薬剤師に相談してください。

重大な副作用	主な自覚症状
血管浮腫 けっかんふしゅ	息苦しい、唇・まぶた・舌・口の中・顔・首が急に腫れる、喉がつまる感じ、声が出にくい
ショック	めまい、冷汗が出る、顔面蒼白（そうはく）、手足が冷たくなる、意識の消失
失神 しっしん	短時間意識を失い倒れる
意識消失 いしきしょうしつ	意識の消失
急性腎障害 きゅうせいじんしょうがい	尿量が減る、むくみ、体がだるい
高カリウム血症 こうかりうむけっしょう	体のしびれ、体に力が入らない、吐き気、嘔吐（おうと）、下痢、お腹が張る
肝機能障害 かんきのうしょうがい	吐き気、食欲不振、疲れやすい、体がだるい、力が入らない
黄疸 おうだん	白目が黄色くなる、皮膚が黄色くなる、尿の色が濃くなる、体がかゆくなる
無顆粒球症 むかりゅうきゅうしょう	突然の高熱、寒気、喉の痛み
横紋筋融解症 おうもんきんゆうかいしょう	脱力感、手足のこわばり、筋肉の痛み、尿が赤褐色になる、手足のしびれ
間質性肺炎 かんしつせいはいえん	息苦しい、息切れ、発熱、咳
低血糖 ていけつとう	手足のふるえ、お腹がすく、冷汗が出る、血の気が引く、疲れやすい、けいれん、意識の低下

以上の自覚症状を、副作用のあらわれる部位別に並び替えると次のとおりです。これらの症状に気づいたら、重大な副作用ごとの表をご覧ください。

部位	自覚症状
全身	冷汗が出る、むくみ、体がだるい、体のしびれ、体に力が入らない、疲れやすい、力が入らない、体がかゆくなる、突然の高熱、寒気、脱力感、発熱、けいれん
頭部	めまい、意識の消失、短時間意識を失い倒れる、意識の低下
顔面	唇・まぶた・舌・口の中・顔・首が急に腫れる、顔面蒼白、血の気が引く
眼	白目が黄色くなる

部位	自覚症状
口や喉	喉がつまる感じ、声が出にくい、吐き気、嘔吐、喉の痛み、咳
胸部	息苦しい、息切れ
腹部	お腹が張る、食欲不振、お腹がすく
手・足	手足のしびれ、手足のこわばり、手足のふるえ、手足が冷たくなる
皮膚	皮膚が黄色くなる
筋肉	筋肉の痛み
尿	尿量が減る、尿の色が濃くなる、尿が赤褐色になる
便	下痢

【この薬の形は？】

販売名	カンデサルタン錠2mg「FFP」	カンデサルタン錠4mg「FFP」	カンデサルタン錠8mg「FFP」	カンデサルタン錠12mg「FFP」
形状	素錠 	割線入りの素錠 	割線入りの素錠 	割線入りの素錠 
直径	7.0mm	7.0mm	7.0mm	7.0mm
厚さ	2.7mm	2.7mm	2.7mm	2.7mm
重さ	130.0mg	130.0mg	130.0mg	130.0mg
色	白色～帯黄白色	白色～帯黄白色	ごくうすいだいだい色	うすいだいだい色
識別コード	FF232 2	FF233 4	FF234 8	FF235 12

【この薬に含まれているのは？】

販売名	カンデサルタン錠2mg「FFP」	カンデサルタン錠4mg「FFP」	カンデサルタン錠8mg「FFP」	カンデサルタン錠12mg「FFP」
有効成分	カンデサルタン シレキセチル			
添加物	乳糖水和物、トウモロコシデンプン、ヒドロキシプロピルセルロース、ステアリン酸マグネシウム、その他1成分		乳糖水和物、トウモロコシデンプン、ヒドロキシプロピルセルロース、ステアリン酸マグネシウム、黄色5号、その他1成分	

【その他】

●この薬の保管方法は？

- ・直射日光と湿気を避けて室温（1～30℃）で保管してください。
- ・子供の手の届かないところに保管してください。

●薬が残ってしまったら？

- ・絶対に他の人に渡してはいけません。
- ・余った場合は、処分の方法について薬局や医療機関に相談してください。

【この薬についてのお問い合わせ先は？】

- ・症状、使用方法、副作用などのより詳しい質問がある場合は、主治医や薬剤師にお尋ねください。
- ・一般的な事項に関する質問は下記へお問い合わせください。

製造販売会社：共創未来ファーマ株式会社

(<http://www.kyosomirai-p.co.jp>)

お客様相談室

電話：050-3383-3846

受付時間：9時～17時

（土、日、祝祭日、弊社休日を除く）